

福山大学こころの健康相談室 平成21年度活動報告

福山大学こころの健康相談室（以下、相談室）は平成18年4月に開設され、地域のこころの健康の支援を目的として活動を行ってきた。また、平成20年11月には分室が開室し、研修会や子育て支援のための行事が活発に開かれている。ここでは、平成21年4月から平成21年11月末までの、相談室における活動について報告する。

本相談室は、こころの健康に関する以下の4つの活動を展開していくことによって、地域の方々のこころの健康のサポート、幅広い領域で実践活動ができる心の専門家の養成、心理的問題に対する支援、およびこれからの時代に必要とされる予防や開発に目を向けた新しい心理臨床活動の実践を実現したいと願っている。

① 心理相談

こころの健康や心理的問題に関する相談・支援を行う。

② 教育

本学大学院生への実践教育を通して、こころの健康に貢献する専門家の養成を目指す。

③ コンサルテーション

心理的支援を共に担う関係者や保護者との話し合いや必要な助言を行う。

④ 講演会・研修会

こころの健康や心理的問題に関する理解を深めるための講演会や支援を必要とする人や専門家を対象とする研修会を開催する。

1. 心理相談活動

地域の方々への心理相談を中心に相談活動を行った。以下、相談受理件数・面接回数および相談内容の特徴について述べる。

(1) 相談受理件数

平成21年4月1日～平成21年11月30日までの受理件数は男性4件、女性10件で、計14件の相談を受理した（表1）。昨年度の同時期に比べると相談件数はやや減少しているが、開室以来安定した申込があり、地域の相談機関として浸透しつつあることがうかがえる。

内訳をみると、昨年度と比較して子どもの相談が少なく、30代以上の成人からの相談件数の割合が高いことが今年度の特徴である。中高生をはじめとして子どもからの相談が減少しているが、潜在的ニーズは高い領域であると考えられ、今後は教育機関や地域の相談機関への相談室の周知や情報提供などを行っていく必要がある。

表1 平成21年度相談受理件数（平成21年4月1日～平成21年11月30日）

	乳幼児 (0～3)	就学前 (4～6)	小学生 (7～12)	中学生 (13～15)	高校生 (16～18)	大学生・成人 (19～22)	(23～30)	(31～40)	(41～50)	(51～)	計
男性	0	0	0	0	0	0	1 (1)	0	2	1	4(1)
女性	0	0 (1)	2 (3)	0	0	0	2	3	2	0	9(3)
計	0	0 (1)	2 (3)	0	0	0	3 (1)	3	4	1	13(4)

注) () 内は、並行面接・同席での相談者（保護者・家族等）、または単独での保護者・家族等の相談

(2) 面接回数および相談内容

平成21年4月～平成21年11月の面接回数は87回であった（表2）。相談内容は、発達障害、学校不応・不

登校、職場不適応、家族・親子関係の問題、対人関係の問題、うつ、不安障害など多様であった。また、申込があったものの医療機関への受診が必要と判断され受理されなかったケースや、医療機関への紹介が必要であったケースなど、精神医学的な対応が必要とされるケースが多く、昨年度に引き続き、連携可能な専門機関の確保が課題である。

表2 平成21年度面接回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
受理件数（初回）	1	2	4	0	2	1	2	2	14
本人面接	2	6	12	7	7	11	14	15	74
遊戯療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親子並行面接	0	0	0	1	3	0	1	0	5
保護者面接	0	0	2	1	0	0	0	3	6
その他（親子同席等）	0	0	0	0	1	0	0	0	1
コンサルテーション面接	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理検査	0	1	0	0	0	0	0	1	1
月別合計	2	7	14	9	11	11	15	18	87
累計	2	9	23	32	43	54	69	87	

2. 相談室歳時記

平成21年9月26日 福山大学人間文化学部心理学科附属こころの健康相談室2009年度研修会
 研修会講師：山田 充（堺市日置荘小学校 通級指導教室「ことばの教室」）
 研修会演題：発達の課題を抱えた子どもの理解と支援に向けて

第1部 講演 : 子どもは学習や行動でなぜつまづくか
 —要因分析から手立てを考える—
 第2部 ワークショップ：子どものテストから要因を分析する
 —要因分析の技法—

3. 相談室員

相談室長 : 日下部典子
 相談員 : 松田文子, 青野篤子, 平 伸二, 三宅幹子, 山崎理央, 橋本優花里, 廣川空美, 樋町美華,
 大西理恵子, 野津山 希
 相談研修員：本学大学院生14名

4. 運営委員および運営委員会

- (1) 本年度の運営委員会は福山大学人間文化学部心理学科教員11名で構成された。
- (2) 運営委員会開催について
 7月1回, 9月1回, 11月1回, 合計3回の運営委員会を開催し, 相談室運営にかかる事項について審議した。その他、相談室ワーキンググループ会議を, 相談ワーキンググループと事業ワーキンググループの各グループで適宜開催した。

(相談員 大西理恵子)